

ハノイ市エンサ下水道計画（第一期）【ベトナム】

施策所管局課 国別開発協力第一課

評価年月日 令和5年4月

1 案件概要	
(1) 供与国名	ベトナム社会主義共和国
(2) 案件名	ハノイ市エンサ下水道計画（第一期）
(3) 目的・事業内容 *閣議決定日、供与条件などを 含む	ベトナムの首都ハノイ市において下水道システムを整備することにより、同市の汚水処理量の増加を図り、同市とその下流域の公衆衛生の改善、持続可能な発展に寄与するものである。 案件の内容 ・下水処理場整備、下水管網整備 ・コンサルティング・サービス ア 閣議決定日：平成25年3月22日 イ 供与限度額：284.17億円 ウ 金利：0.65%（コンサルティング・サービスについては0.01%） エ 償還（据置）期間：40年（10年） オ 調達条件：一般アントайд
2 事業の評価	
(1) 経緯・現状	ア 社会ニーズの現状 本事業計画当初、ベトナムでは急速な経済成長と都市化に対して下水道施設整備が追い付かず、増大する家庭排水・商工業排水に比べ、下水処理能力が極めて限定的だった。2010年時点で、ハノイ市の下水道普及率は約12%に留まり、市内の河川・水路、湖沼、地下水等の水環境は、家庭からの未処理の排水等により大きな汚濁負荷を受け、下水道施設整備が喫緊の課題となっていた。 現在も都市部の汚水はセプティックタンク（腐敗槽）による簡易処理のみであり、全国都市部の下水道普及率は約14%（2020年）に留まる。また、排水管網も十分整備されておらず、汚水は適切に処理されていない。そのため、本計画に係る状況は当初から大きく変わらず、現在も本事業に関する社会的ニーズがある。 イ 事業遅延に関する経緯・現状 当初は2020年12月の事業完了を想定していたが、詳細設計段階において実施機関である、農業・インフラ技術建設投資事業運営委員会の要望で累次の設計見直しがあり、承認手続き及び調達手続きが遅延した。その後、ようやく工事は2019年1月より順次開始したものの新型コロナウイルスの流行に加え、資機材納入遅延や地中障害物による設計変更、道路占有許可手続きの遅延等により工事が遅延した。現在、これらの問題は概ね解決し、2025年～2026年頃の工事完成を目指している。
(2) 今後の対応方針	本件に関する社会的ニーズが引き続きあり、事業完成後は当初予定どおりの効果が見込まれている。また、事業の進捗を妨げていた主な要因は解決していることから、支援を継続する。
3 政策評価を行う過程において使用した資料等	・交換公文 ・外務省の約束状況に関する資料及び案件概要 ・政策評価法に基づく事前評価書 ・国際協力機構の案件検索

	・ 国際協力機構の事業事前評価表 ・ その他国際協力機構から提出された資料
--	---